

看護部

糖尿病療法指導室

1. 紹介と今後の展望

療養指導室は、糖尿病内分泌内科外来に併設し、担当看護師がインスリン注射や自己血糖測定手技の指導、療養生活上の援助指導を行う指導室として開設しています。担当看護師は糖尿病療養指導士の資格を持ち、曜日毎に継続通院される方のプライマリ・ケアを行い、更に紹介状を持参された初診外来時の自己血糖測定療法導入やインスリン療法導入、他科の医師からの療養指導依頼や病棟看護師からの相談やフットケアの依頼等、当日の臨時指導も積極的に受け付けております。

糖尿病療養指導士の資格は看護師だけでなく他職種も取得できる資格で、当院では管理栄養士や臨床検査技師、リハビリ技師も取得しており、多岐に亘る部門で取得している事が、糖尿病チームとして誇らしく思っています。とはいえ日常業務の中でコ・メディカル同士が共働する機会は難しいのが現状です。しかし年に1回の糖尿病フェスティバルでは、医療職種だけでなく事務スタッフも協力して、参加下さった方々の血糖測定や食事・生活相談、栄養バランスのとれたお弁当の販売を行い、毎年多数の参加者に満足頂いています。

今後の活動として、社会的に糖尿病患者が増え続け当院への紹介患者も増える中、初期指導の大切さを実感しながら日々の外来指導を充実させると共に、看護部内で糖尿病に特化した看護師の存在を重宝して貰える様、病棟や外来、他部署の看護師や他職種の方々と共働出来る様に努めていきます。

2. 業務内容

糖尿病療養指導外来（水・木・金曜日）

フットケア外来（木・金曜日）

糖尿病教育入院（月1回・糖尿病内分泌内科病棟で1週間入院）

糖尿病外来教室（月1日・土曜日9:20～12:30）

公開医学講座（月1回・どうして太ると良くないの健康生活と特定健診のすすめ）

3. 指導実績（2015年1月～12月）

年間療養指導者数	1,575名 (月平均131名)
年間新規療養指導者数	221名
年間自己注射新規導入件数	54件
糖尿病外来教室参加者数	43名

4. 学会発表

手塚奈央子：世界糖尿病デー活動での血糖測定926名から得られた現状と活動効果. 第58回日本糖尿病学会年次学術集会, 山口県下関, 2015, 5.